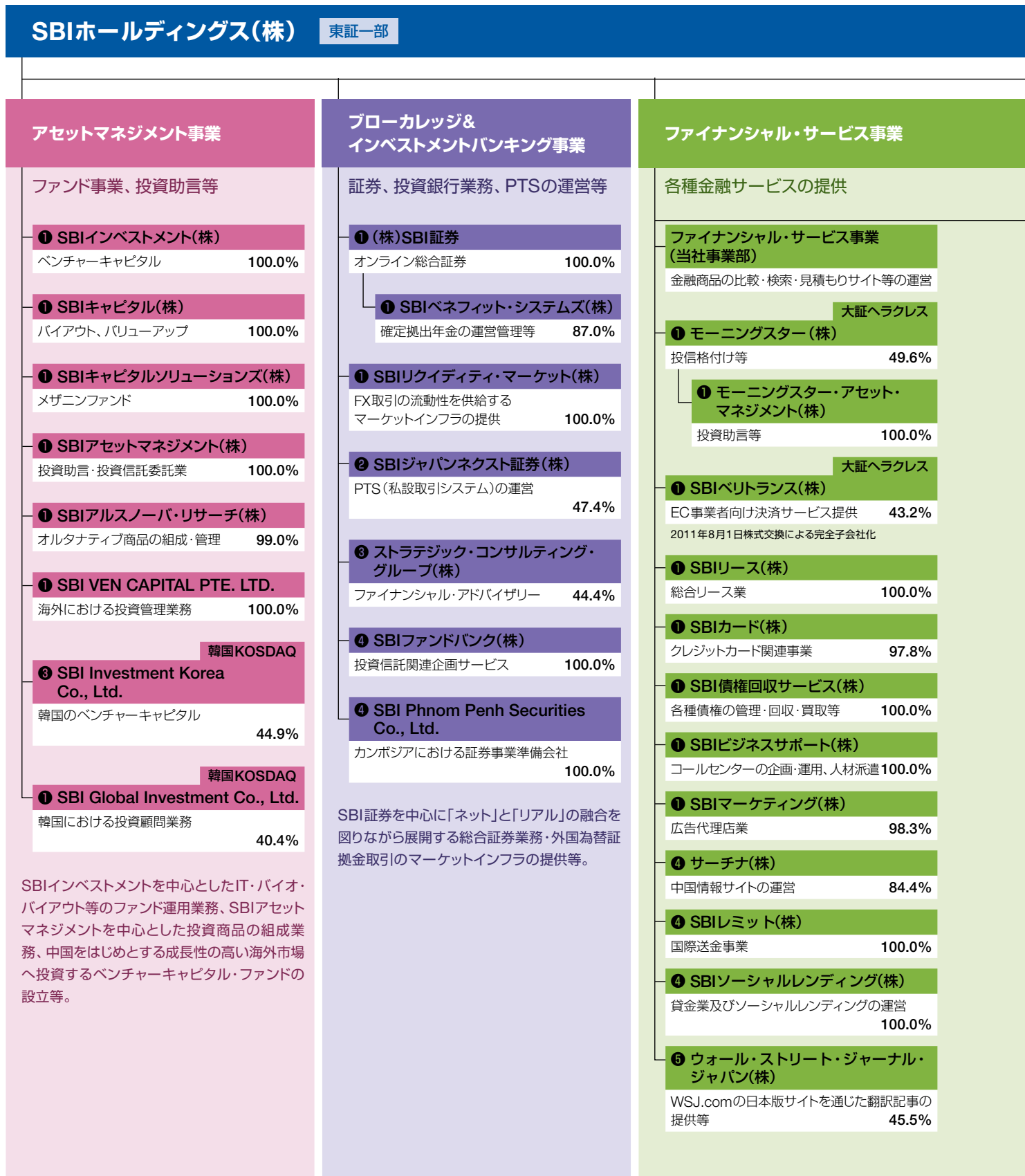


会社情報

SBIグループ関連図(主要グループ会社)



2011年3月31日現在 (％はグループ合計保有比率)

① 連結子会社 ② 持分法適用非連結子会社 ③ 持分法適用関連会社 ④ 非連結子会社 ⑤ 持分法非適用関連会社

	住宅不動産関連事業	その他
① SBI損害保険(株) インターネットを主軸とした損害保険 65.5%	住宅ローン、不動産投資、開発、生活関連等 不動産事業本部(当社) 不動産投資・開発、不動産ファンド運用事業等	東証マザーズ ① SBIネットシステムズ(株) 情報セキュリティ関連技術の開発提供 81.0%
③ 住信SBIネット銀行(株) インターネット専門銀行 50.0%	① SBIモーゲージ(株) 長期固定金利住宅ローン 98.0%	① SBIバイオテック(株) 医薬品の研究開発 71.5%
① オートックワン(株) インターネット自動車購入支援サービス 50.6%	① (株)セムコーポレーション 不動産担保融資 79.7%	① SBIアラプロモ(株) 「5-ALA(5-アミノレブリン酸)」関連商品の開発販売 76.8%
① SBIクレジット(株) オートローン事業、金融商品の企画・販売 100.0%	東証マザーズ ① SBIライフリビング(株) 不動産投資物件の開発・販売、生活関連サイト運営 68.2%	
④ SBIオートサポート(株) 自動車販売店を通じた金融サービス提供支援 70.0%	① SBIプランナーズ(株) 建築工事・仲介 100.0%	
④ SBIゲオマーケティング(株) 損害保険・生命保険代理業等 51.0%	④ SBIアーキクオリティ(株) 住宅性能評価業務等 100.0%	
JASDAQ ⑤ (株)ソルクシーズ ソフトウェア開発 26.3%	④ SBIギャランティ(株) 賃貸住宅の家賃保証業務 100.0%	
④ SBIポイントユニオン(株) グループ内外の共通ポイントの開発・管理 95.0%	④ SBIマネープラザ(株) 金融商品を販売する店舗展開 100.0%	
④ SBIビジネス・ソリューションズ(株) バックオフィス支援サービス 78.0%	④ SBIウェルネスバンク(株) 会員制健康関連サービス事業 100.0%	
④ SBIアートフォリオ(株) 美術品売買 100.0%	住宅ローンの貸出・取次業務、不動産物件への投資や不動産開発、不動産を中心とするファンドの組成・運営等。そのほか、各種生活関連比較サイトの運営及び健康関連サービスの提供等。	
③ TIEN PHONG COMMERCIAL JOINT STOCK BANK ベトナムにおける商業銀行業務等 20.0%		
③ PHNOM PENH COMMERCIAL BANK カンボジアにおける商業銀行業務等 40.0%		
ネット銀行やネット損保、カード事業等のほか、保険・ローン比較サイトの運営、決済サービスの提供、投資信託の評価など。		

沿革

1999年	3月	ソフトバンク(株)の純粋持株会社化に伴う事業再編成を受けて、ソフトバンク(株)管理本部がソフトバンク・ファイナンス(株)として独立。金融関連分野における事業活動を統括する事業持株会社となる。
	7月	ベンチャーズ・インキュベーション事業を行う事を目的として、ソフトバンク・インベストメント(株)(現SBIホールディングス株式会社、以下「SBI」)を設立。
2000年	6月	モーニングスター(株)がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
	9月	イー・トレード(株)(現SBIホールディングス(株))がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
	12月	SBIがナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
2001年	8月	ソフトバンク・フロンティア証券(株)(ワールド日栄証券と合併後、SBI証券(株)に商号変更)がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
2002年	2月	SBIが東京証券取引所市場第一部に上場。
	11月	SBIが大阪証券取引所市場第一部に上場。
2003年	6月	SBIがイー・トレード(株)(現SBIホールディングス(株))と合併し、事業持株会社としてイー・トレード証券(株)他を子会社とする。以後、SBIを中核会社とする事業再編を加速。
	9月	ファイナンス・オール(株)が大証ヘラクレス市場に上場。
	10月	ワールド日栄証券(株)(旧SBI証券(株))を買収し、子会社とする。
2004年	10月	ベリトランス(株)(現SBIベリトランス(株))が大証ヘラクレス市場に上場。
	11月	イー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)がJASDAQ市場に上場。
2005年	3月	公募増資によりソフトバンク(株)の持株比率が低下し、ソフトバンク(株)の連結子会社から持分法適用関連会社に変更。
	7月	ソフトバンク・インベストメント(株)からSBIホールディングス(株)に商号変更。会社分割により、アセットマネジメント事業をソフトバンク・インベストメント(株)(旧SBIベンチャーズ(株))に移管し、持株会社体制へ移行。
2006年	3月	SBIホールディングス(株)がSBIパートナーズ(株)及びファイナンス・オール(株)を合併。株式交換により旧SBI証券(株)を完全子会社化。
	5月	SBIフューチャーズ(株)が大証ヘラクレス市場に上場。
	8月	モーニングスター(株)の子会社であるゴメス・コンサルティング(株)が大証ヘラクレス市場に上場。主要株主であるソフトバンク(株)の子会社がSBIホールディングス(株)の全株式を売却したことにより、ソフトバンク(株)の持分法適用関連会社より除外となる。
2007年	2月	SBIイー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)の韓国における子会社E*TRADE Korea Co., Ltd.が韓国KOSDAQ市場に上場。
	10月	SBI証券(株)がSBIイー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)を存続会社として合併。
2008年	8月	株式交換により(株)SBI証券を完全子会社化。
	9月	(株)SBI証券の韓国における子会社E*TRADE Korea Co., Ltd.の株式を譲渡。
2009年	8月	株式交換によりSBIフューチャーズ(株)を完全子会社化。
2010年	2月	SBIアクサ生命保険(株)の全株式をアクサ ジャパン ホールディング(株)に譲渡。
	4月	(株)SBI証券がSBIフューチャーズ(株)を合併。
	6月	第三者割当増資に応じ韓国KOSDAQ市場上場のKTIC Global Investment Advisory Co., Ltd.(現SBI Global Investment Co., Ltd.)を子会社とする。
	7月	追加増資に応じ韓国KOSDAQ市場上場のKorea Technology Investment Corporation(現SBI Investment Korea Co., Ltd.)を持分法適用関連会社とする。
	9月	ロシア連邦・モスクワ市に駐在員事務所を開設。
	10月	ベトナム・ハノイ市に駐在員事務所を開設。
2011年	2月	SBIベリトランス(株)の完全子会社化のための株式交換契約を締結。
	4月	SBIホールディングス株式を原株とする香港預託証券(HDR)を香港証券取引所に上場。
	6月	マレーシア・クアラルンプールに駐在員事務所を開設。
	7月	モーニングスター(株)がゴメス・コンサルティング(株)を吸収合併。

トピックス

2010

- 4月 ● (株)SBI証券がSBIフューチャーズ(株)を合併
 - 中国・上海市に駐在員事務所を開設
- 6月 ● 韓国KOSDAQ市場上場のKTIC Global Investment Advisory Co., Ltd. (現「SBI Global Investment Co., Ltd.」)を連結子会社化
 - スリランカの大手商業銀行であるCommercial Bank of Ceylon PLC株式を、当社子会社を通じて取得
 - 一般募集による311万株の公募増資を実施
- 7月 ● (株)ガリバーインターナショナルの金融子会社である(株)ジー・ワンファイナンシャルサービスの信販子会社(株)ジー・ワンクレジットサービス(現「SBIクレジット(株)」)の株式を譲受
 - 中国の大手損害保険会社である天安保険社の株式を既存株主より取得
 - 韓国 KOSDAQ 市場上場の Korea Technology Investment Corporation (現「SBI Investment Korea Co., Ltd.」)を持分法適用関連会社化
 - 米国Jefferies Group Inc.と、米国及びアジアの企業を対象とした投資ファンドを共同設立
- 8月 ● ブラジルの資産運用会社Jardim Botânico Investimentosと投資ファンドを共同設立することで基本合意
- 9月 ● 国内外の金融情報を提供する金融ポータルサイト「SBIF」を開設
 - ロシア連邦・モスクワ市に駐在員事務所を開設
- 10月 ● (株)SBI証券、iPhoneに対応した株取引アプリ「SBI株取引」を提供開始
 - 中国・上海市の復旦大学と、中国未公開企業を投資対象とする投資ファンドの共同設立に基本合意
 - SBI損害保険(株)自動車保険契約件数が20万件を突破
 - ベトナム・ハノイ市に駐在員事務所を開設
 - SBI Phnom Penh Securities Co., Ltd.がカンボジア証券取引委員会から、日系金融機関として唯一となる同国における証券事業フルライセンスの認可を取得
- 11月 ● 日本・中国両国企業間の情報交換及びM&Aの活性化に向けて、「一般社団法人日中M&A協会」を設立
 - SBI大学院大学、ベトナムの私立大学FPT大学と包括的提携に関して基本合意
- 12月 ● SBIレミット(株)が資金移動業者として登録され、日本初となるインターネットを主要チャネルとする国際送金サービスを開始
 - SBIモーゲージ(株)の対面型店舗「SBI住宅ローン」及び「SBI住宅ローン／SBIマネープラザ」が100店舗を突破

2011

- 1月 ● Invest AD(アブダビ投資会社)と北・中央アフリカ6カ国の企業を投資対象とする投資ファンドを共同設立
- 2月 ● 住信SBIネット銀行(株)口座数100万口座を突破
 - SBI Phnom Penh Securities Co., Ltd.が日系企業初となるカンボジアでの株式上場主幹事を獲得
 - 韓国LG CNS Co., Ltd.との合併会社SBI-LGシステムズ(株)を設立
 - SBIペリトランス(株)の完全子会社化のための株式交換契約を締結
- 3月 ● (株)SBI証券、インターネット証券大手3社と協力し、『資産倍増プロジェクト』を立ち上げ
 - SBIソーシャルレンディング(株)が営業開始
- 4月 ● (株)SBI証券、ベトナムの大手証券会社のFPT Securities Joint Stock Companyの発行済株式の20%を取得
 - SBIホールディングス株式を原株とする香港預託証券(HDR)を香港証券取引所に上場
 - 香港の証券会社Kingston Financial Group Limitedの第三者割当増資を引き受け、発行済株式の2.74%を取得
- 5月 ● 住信SBIネット銀行(株)預金総残高1兆6,000億円を突破
 - Invest AD(アブダビ投資会社)とトルコの未公開企業を投資対象とする投資ファンドの共同設立で最終合意
- 6月 ● マレーシア・クアラルンプールに駐在員事務所を開設
 - 住信SBIネット銀行(株)住宅ローン実行累計額8,000億円を突破
 - ロシアの商業銀行Obibank Ltd.の発行済株式の50%を取得
 - 中国証券報社と日中間の経済・金融情報サービス事業及び広告代理業務、ウェブサイト構築業務を行う上海新証財経信息咨询有限公司を合併設立
- 7月 ● モーニングスター(株)がゴメス・コンサルティング(株)を吸収合併
 - (株)SBI証券、インドネシア第4位のバンクネガラインドネシアを中心とするBNIグループ傘下のBNI証券の発行済株式の25%を取得

役員一覧

(2011年6月29日現在)



代表取締役執行役員CEO

北尾 吉孝

(株)SBI証券代表取締役会長
SBIインベストメント(株)代表取締役執行役員CEO
モーニングスター(株)取締役執行役員CEO

SBIベリトランス(株)取締役執行役員CEO
SBI VEN HOLDINGS PTE. LTD.取締役
SBI Hong Kong Co., Limited取締役



取締役執行役員CFO

澤田 安太郎

SBIネットシステムズ(株)代表取締役会長
SBIインベストメント(株)取締役執行役員CFO



取締役執行役員

中川 隆

SBIインベストメント(株)
代表取締役執行役員COO
海外事業本部ファンド投資統括



取締役執行役員

平井 研司

海外事業本部海外事業管理部長
SBI VEN HOLDINGS PTE. LTD.
取締役
SBI Hong Kong Co., Limited取締役



取締役執行役員

朝倉 智也

モーニングスター(株)
代表取締役執行役員COO



取締役執行役員

沖田 貴史

SBIベリトランス(株)
代表取締役執行役員COO
SBIリサーチ(株)代表取締役Co-CEO
SBIナビ(株)代表取締役執行役員CEO



取締役執行役員

円山 法昭

SBIモーゲージ(株)
代表取締役執行役員COO



取締役執行役員

森田 俊平

SBIビジネス・ソリューションズ(株)
代表取締役社長



取締役執行役員

山内 信二

海外事業本部副本部長
兼 海外事業推進部長
SBIインベストメント(株)取締役



取締役執行役員

宮崎 誠

北京駐在員事務所首席代表
SBI Hong Kong Co., Limited取締役



取締役執行役員

高橋 良巳

SBI KOREA HOLDINGS CO., LTD.
代表取締役
SBI Investment KOREA Co., Ltd.
代表取締役会長 兼 CEO



取締役執行役員

高柳 真樹

SBI VEN CAPITAL PTE. LTD.
マネージング・ディレクター 兼 CEO
SBIインベストメント(株)取締役



取締役
井土 太良

(株)SBI証券代表取締役社長



取締役
城戸 博雅

SBI損害保険(株)代表取締役社長



取締役
木村 紀義

住信SBIネット銀行(株)執行役員CTO



取締役
田坂 広志

(株)ソフィアバンク代表取締役
(株)ローソン社外取締役
多摩大学大学院教授
内閣官房参与



取締役
吉田 正樹

(株)吉田正樹事務所代表取締役社長
(株)フタナベエンターテインメント
代表取締役会長
(株)ギガ・メディア社外取締役



社外取締役
永野 紀吉

信越化学工業(株)社外監査役



社外取締役
渡邊 啓司

(株)朝日工業社社外取締役
(株)船井財産コンサルタンツ社外取締役



社外取締役
夏野 剛

びあ(株)取締役
(株)ドワンゴ取締役
セガサミーホールディングス(株)
社外取締役
トランス・コスモス(株)社外取締役
グリー(株)社外取締役



社外取締役
玉木 昭宏

(株)エッセンティア監査役
(株)サイファ代表取締役
エイベックス・グループ・
ホールディングス(株)
社外監査役



常勤監査役
藤井 厚司

(株)SBI証券社外監査役
SBIインベストメント(株)監査役



社外監査役
島本 龍次郎

住信SBIネット銀行(株)社外常勤監査役
SBIリース(株)監査役



監査役
多田 稔

(株)SBI証券社外常勤監査役



社外監査役
早川 久

SBI損害保険(株)社外常勤監査役

コーポレート・データ

会社概要

(2011年3月31日現在)

社名	SBIホールディングス株式会社	従業員数	3,397名(連結)
設立年月日	1999年7月8日	資本金	81,663百万円 (2011年6月30日現在)
本社所在地	〒106-6019 東京都港区六本木一丁目6番1号 泉ガーデンタワー19F TEL: 03-6229-0100 FAX: 03-3224-1970	事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで

株式情報

(2011年6月30日現在)

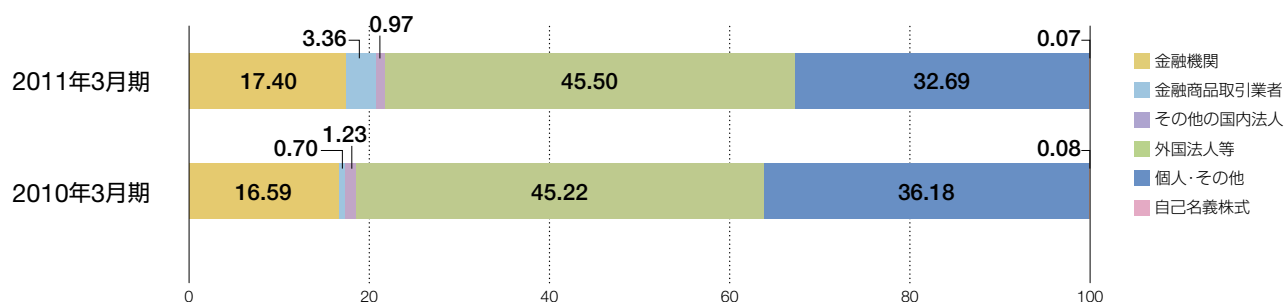
上場証券取引所	東京、大阪、香港
証券コード	8473(東京証券取引所)、6488(香港証券取引所)
発行可能株式総数	34,169,000株
発行済株式総数	21,944,018株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
香港預託証券(HDR)預託機関	JPMorgan Chase Bank, N.A.

(2011年3月31日現在)

大株主	株主名	持株数(株)	持株比率(%)
	シービーニューヨークオービス ファンズ	1,747,538	8.76
	シービーニューヨークオービス エスアイシーアーヴィー	1,198,102	6.00
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	894,578	4.48
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	755,375	3.78
	バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカун ト ジェイピーアールデイ アイエスジー エフイー-エイシー	517,817	2.59
	メリルリンチ日本証券株式会社	406,412	2.03
	サジャップ	376,628	1.88
	ユービーエス エージー ロンドン アカун ト アイピービー セグリゲイテッドクライアント アカун ト	328,191	1.64
	北尾 吉孝	323,626	1.62
	パークレイズ バンク ピーエルシー パークレイズ キャピタル セキュリティーズ エスビーエル/ ピービーアカун ト	303,539	1.52

(2011年3月31日現在)

所有者別株式分布状況(%)



【代表取締役執行役員CEO北尾吉孝の主な著書】

『進化し続ける経営』
—SBIグループそのビジョンと戦略
(2005年10月)

(英語翻訳: John Wiley & Sons, Inc.)
(中国語翻訳: 清华大学出版社)

『E-ファイナンスの挑戦II』
(2000年4月)

(韓国語翻訳: Dongbang Media Co. Ltd.)

『E-ファイナンスの挑戦I』
(1999年12月)

(中国語翻訳: 商务印书馆出版)
(韓国語翻訳: Dongbang Media Co. Ltd.)

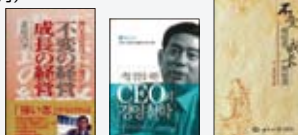
『「価値創造」の経営』
(1997年12月)

(中国語翻訳: 商务印书馆出版)
(韓国語翻訳: Dongbang Media Co. Ltd.)

(以上、東洋経済新報社)

『日本人の底力』
—世界は「わが民族の叡智」を求めている
(2011年4月)『人物をつくる』
—真の経営者に求められるもの
(2003年4月)

(中国語翻訳: 世界知識出版社)

『不変の経営・成長の経営』
—伸びる会社はどこが違うのか
(2000年10月)

(韓国語翻訳: Dongbang Media Co. Ltd.)
(中国語翻訳: 世界知識出版社)

(以上、PHP研究所)

『森信三に学ぶ人間力』
(2011年2月)『安岡正篤ノート』
(2009年12月)『君子を目指せ小人になるな』
—私の古典ノート
(2009年1月)『何のために働くのか』
(2007年3月)

(韓国語翻訳: Joongang Books)

(以上、致知出版社)

『人生の大義』
—社会と会社の両方で成功する生き方
(2010年8月)

※夏野剛氏との共著

(講談社)

『中国古典からもらった「不思議な力」』
(2005年7月)

(三笠書房) (中国語翻訳: 北京大学出版社)

『活眼を開く』
(2010年11月)『窮すればすなわち変ず』
—「変化」をどう受け止め、どう処するか
(2009年10月)『時局を洞察する』
(2008年8月)

(以上、経済界)

『北尾吉孝の経営道場』
(2009年6月)

(企業家ネットワーク)

『逆境を生き抜く名経営者、先哲の箴言』
(2009年12月)

(朝日新聞出版) (中国語翻訳: 清华大学出版社)